2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月6日

上場会社名　株式会社アサヒペン　　上場取引所　東
コード番号　4623　URL https://www.asahipen.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 澤田耕吾
問合せ先責任者　(役職名) 取締役管理部担当　(氏名) 石尾維英　TEL 06-6930-5018

半期報告書提出予定日　2026年11月10日　配当支払開始予定日　2026年12月1日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	12,188	52.1	582	82.5	637	79.7	401	4.7
2026年3月期中間期	8,015	△11.9	319	△36.2	354	△33.2	383	△13.2

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　515百万円　(34.8%)　2026年3月期中間期　790百万円　(69.2%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	110.52	―
2026年3月期中間期	98.52	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	25,977	14,940	57.5
2026年3月期	25,963	14,992	57.7

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　14,940百万円　2026年3月期　14,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	30.00	―	30.00	60.00
2027年3月期	―	30.00			
2027年3月期(予想)			―	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	35.5	1,050	67.2	1,150	55.8	680	△6.5	187.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2．中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	4,500,000 株	2026年3月期	4,500,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	1,054,994 株	2026年3月期	792,237 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	3,634,372 株	2026年3月期中間期	3,894,543 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P．3「1．当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（会計方針の変更に関する注記） …… 9
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 9
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10
（重要な後発事象の注記） …… 11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は企業収益や雇用環境に改善の動きが見られ、緩やかな回復傾向にあるものの、中東の情勢等による影響がわが国の景気を下押しするリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおいては、2026年１月30日付で時計用品を取り扱う保土ヶ谷電子販売株式会社ならびに同社グループ３社を子会社化したこと、中東情勢の影響による石油由来製品の一時的な需要増等の影響から、当中間連結会計期間の売上高は121億８千８百万円（前年同期比52.1%増）となりました。

利益面では、売上の増加に加え経営の効率化に努めたことから営業利益は５億８千２百万円（前年同期比82.5%増）、経常利益は６億３千７百万円（前年同期比79.7%増）となり、特別利益が前年同期と比較して減少したことから中間純利益は４億１百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、従来の当社グループの報告セグメントは、「塗料事業」、「ＤＩＹ用品事業」、「ペット用品事業」の３つとしておりましたが、保土ヶ谷電子販売株式会社ならびに同社グループ３社の子会社化に伴い、前連結会計年度より、「塗料事業」、「ＤＩＹ用品事業」、「ペット用品事業」、「時計用品事業」の４つの報告セグメントに変更しております。

＜塗料事業＞

当事業の売上高は、前年同期比で12.6%増加し42億８千７百万円となり、セグメント利益は前年同期比で152.3%増加し３億９百万円となりました。

＜ＤＩＹ用品事業＞

当事業の売上高は、前年同期比で6.6%増加し26億７千１百万円となりましたが、セグメント利益は前年同期比で0.7%減少し１億２千１百万円となりました。

＜ペット用品事業＞

当事業の売上高は、前年同期比で12.6%増加し17億９千６百万円となり、セグメント利益は前年同期比で8.1%増加し１千８百万円となりました。

＜時計用品事業＞

当事業の売上高は、32億９千５百万円となり、セグメント利益は７千５百万円となりました。

＜その他＞

その他の事業の売上高は、前年同期比で9.3%増加し１億３千８百万円となり、セグメント利益は前年同期比で1.7%減少し５千７百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は259億７千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ１千４百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少６億９千万円、売掛金の増加１億３千９百万円、電子記録債権の増加２億６百万円、建物及び構築物の増加７億５千８百万円、有形固定資産のその他の減少６億３百万円、投資有価証券の増加２億６千７百万円、保険積立金の減少１億９千２百万円によるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は110億３千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ６千７百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務の増加２億４百万円、１年内返済予定の長期借入金の増加５億３千３百万円、長期借入金の減少７億６千４百万円によるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は149億４千万円となり、前連結会計年度末に比べ５千２百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の増加２億９千万円、自己株式の増加４億５千４百万円、その他有価証券評価差額金の増加１億１千９百万円によるものです。この結果、自己資本比率は57.5%(前連結会計年度末は57.7%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は35億９千１百万円となり、前連結会計年度末と比較して６億９千万円の減少となりました。

その主な要因につきましては以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は４億６千９百万円（前年同期比12.1%減）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益６億６千７百万円、減価償却費１億６千８百万円、及び仕入債務の増加額２億６千４百万円等の収入に対して、売上債権の増加額３億４千２百万円、棚卸資産の増加額１億３千万円及び法人税等の支払額２億６千２百万円等の支出によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は２億９千３百万円（前年同期比31.3%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出４億４千３百万円及び投資有価証券の取得による支出１億５百万円、保険積立金の解約による収入２億７百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は８億６千５百万円（前年同期は９千１百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出２億３千１百万円、自己株式の取得による支出４億９千９百万円、配当金の支払額１億１千１百万円等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年10月19日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,281,900	3,591,244
受取手形	44,226	41,029
売掛金	2,830,263	2,969,369
電子記録債権	848,406	1,054,555
商品及び製品	3,437,487	3,528,372
仕掛品	25,597	33,530
原材料及び貯蔵品	319,461	351,366
その他	373,913	519,342
貸倒引当金	△4,285	△4,231
流動資産合計	12,156,970	12,084,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,206,595	2,965,219
土地	5,272,496	5,271,150
その他（純額）	1,056,354	452,614
有形固定資産合計	8,535,447	8,688,984
無形固定資産		
のれん	445,711	373,433
その他	208,110	204,865
無形固定資産合計	653,821	578,299
投資その他の資産		
投資有価証券	3,765,094	4,032,178
長期未収入金	196,280	196,250
保険積立金	421,224	228,507
その他	451,835	386,295
貸倒引当金	△217,453	△217,423
投資その他の資産合計	4,616,980	4,625,807
固定資産合計	13,806,249	13,893,090
資産合計	25,963,220	25,977,669
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,342,219	1,401,757
電子記録債務	747,508	952,120
短期借入金	3,497,500	3,480,000
１年内返済予定の長期借入金	300,005	833,038
１年内償還予定の社債	500,000	500,000
リース債務	3,112	7,837
未払法人税等	295,331	282,501
引当金	156,937	205,778
その他	612,181	583,941
流動負債合計	7,454,795	8,246,975
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	1,146,723	382,056
退職給付に係る負債	916,668	926,360
その他	652,433	682,276
固定負債合計	3,515,827	2,790,693
負債合計	10,970,623	11,037,668

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,873,141	8,870,941
利益剰余金	5,412,210	5,702,643
自己株式	△1,422,920	△1,877,697
株主資本合計	12,962,431	12,795,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,949,843	2,069,801
退職給付に係る調整累計額	80,322	74,313
その他の包括利益累計額合計	2,030,166	2,144,114
純資産合計	14,992,597	14,940,001
負債純資産合計	25,963,220	25,977,669

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	8,015,664	12,188,520
売上原価	5,460,614	8,376,131
売上総利益	2,555,049	3,812,388
販売費及び一般管理費	2,235,639	3,229,417
営業利益	319,410	582,971
営業外収益		
受取利息	1,763	2,625
仕入割引	8,704	12,121
受取配当金	38,120	48,169
その他	13,184	44,930
営業外収益合計	61,773	107,846
営業外費用		
支払利息	17,818	35,713
その他	8,582	17,415
営業外費用合計	26,401	53,128
経常利益	354,782	637,688
特別利益		
固定資産売却益	101,591	8,177
投資有価証券売却益	166,137	23,004
特別利益合計	267,728	31,181
特別損失		
減損損失	1,346	1,346
特別損失合計	1,346	1,346
税金等調整前中間純利益	621,164	667,524
法人税等	237,464	265,858
中間純利益	383,700	401,665
親会社株主に帰属する中間純利益	383,700	401,665

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	383,700	401,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	408,752	119,957
退職給付に係る調整額	△1,724	△6,008
その他の包括利益合計	407,028	113,948
中間包括利益	790,728	515,614
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	790,728	515,614

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	621,164	667,524
減価償却費	153,515	168,306
長期前払費用償却額	1,526	2,469
減損損失	1,346	1,346
のれん償却額	72,277	72,277
賞与引当金の増減額（△は減少）	△39,256	41,136
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△12,000	7,705
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△60	△84
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△14,923	2,513
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	－	3,343
株式報酬費用	21,701	21,355
固定資産処分損益（△は益）	△100,621	△6,324
為替差損益（△は益）	△19	1,104
投資有価証券売却損益（△は益）	△166,137	△23,004
受取利息及び受取配当金	△39,883	△50,794
支払利息	17,818	35,713
売上債権の増減額（△は増加）	△170,947	△342,171
棚卸資産の増減額（△は増加）	322,140	△130,723
長期未収入金の増減額（△は増加）	60	30
仕入債務の増減額（△は減少）	75,264	264,149
未払消費税等の増減額（△は減少）	45,713	△72,985
その他	△18,634	54,280
小計	770,044	717,168
利息及び配当金の受取額	39,882	50,846
利息の支払額	△18,041	△35,884
法人税等の支払額	△257,858	△262,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	534,026	469,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△390,167	△443,783
有形固定資産の売却による収入	172,335	12,499
無形固定資産の取得による支出	△680	△2,230
投資有価証券の取得による支出	△3,442	△105,082
投資有価証券の売却による収入	－	40,653
貸付金の回収による収入	92	318
保険積立金の解約による収入	－	207,071
その他	△1,679	△2,937
投資活動によるキャッシュ・フロー	△223,542	△293,490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	300,000	△17,500
長期借入金の返済による支出	△85,714	△231,634
リース債務の返済による支出	△6,077	△5,820
自己株式の売却による収入	128	－
自己株式の取得による支出	△396	△499,677
配当金の支払額	△116,423	△111,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	91,517	△865,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△990
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	402,020	△690,655
現金及び現金同等物の期首残高	3,332,649	4,281,900
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,734,669	3,591,244

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年６月29日開催の取締役会の決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式25,000株の処分を行っております。

また、2026年８月７日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式287,300株の取得を行いました。

この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が454,777千円増加したこと等により、当中間連結会計期間末において、自己株式が1,877,697千円となっております。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び連結子会社は、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
荷造・運送費	570,847千円	748,398千円
販促宣伝費	145,729	109,926
従業員給料手当	570,425	996,413
賞与引当金繰入額	56,133	156,720
退職給付費用	34,737	38,743
減価償却費	102,891	103,272
不動産賃借料	86,630	137,300

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金勘定	3,734,669千円	3,591,244千円
現金及び現金同等物	3,734,669	3,591,244

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	塗料事業	ＤＩＹ用品事業	ペット用品事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,787,895	2,505,354	1,595,971	7,889,221	31,280	7,920,502
その他の収益	－	－	－	－	95,162	95,162
外部顧客への売上高	3,787,895	2,505,354	1,595,971	7,889,221	126,442	8,015,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,241	－	－	20,241	－	20,241
計	3,808,136	2,505,354	1,595,971	7,909,462	126,442	8,035,905
セグメント利益	122,802	122,452	17,013	262,268	58,370	320,638

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス業及び賃貸業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	262,268
「その他」の区分の利益	58,370
セグメント間取引消去	△1,228
中間連結損益計算書の営業利益	319,410

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに配分されていない減損損失は1,346千円であります。

「ペット用品事業」セグメントに配分されたのれんの償却額は72,277千円、未償却残高は517,988千円であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）	合計
	塗料事業	ＤＩＹ用品事業	ペット用品事業	時計用品事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,286,583	2,671,474	1,796,666	3,295,622	12,050,345	39,817	12,090,163
その他の収益	－	－	－	－	－	98,356	98,356
外部顧客への売上高	4,286,583	2,671,474	1,796,666	3,295,622	12,050,345	138,174	12,188,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,042	－	－	－	1,042	－	1,042
計	4,287,626	2,671,474	1,796,666	3,295,622	12,051,388	138,174	12,189,563
セグメント利益	309,819	121,612	18,396	75,764	525,592	57,378	582,971

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス業及び賃貸業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	525,592
「その他」の区分の利益	57,378
セグメント間取引消去	－
中間連結損益計算書の営業利益	582,971

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに配分されていない減損損失は1,346千円であります。

「ペット用品事業」セグメントに配分されたのれんの償却額は72,277千円、未償却残高は373,433千円であります。

４．報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より、保土ヶ谷電子販売株式会社ならびに同社グループ３社の株式を全数取得し連結子会社としたことにより、新規事業として報告セグメントに「時計用品事業」を追加しております。

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。